

Yamaha USB-MIDI Driver V1.2.1 for Mac OS X Release Notes

主なアップデートの内容

V1.2.0 → V1.2.1

- Mac OS X 10.6 に対応しました。
- 対応 OS を Mac OS X 10.4.11 以降に変更しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

更新履歴

V1.1.1 → V1.2.0

- MIDI ポート名に機器名を含めない仕様に変更しました。すでに使用中の機器のポート名は、下記の手順により新しい形式に変更できます。

1. コンピューターから機器をとりはずします。
2. Audio MIDI 設定の「MIDI 装置」に、お使いの機器が登録されているかを確認します。
登録されている場合は、「MIDI 装置」から機器を削除します。
3. コンピューターに機器を接続します。

NOTE:

以前の形式のポート名でお使いになりたい場合は、システム環境設定→”Yamaha USB-MIDI”を開き、”Include device name in port name (old style)” をオンにしたあとに、もう一度上記の手順を行なってください。

- MIDI パッチ機能、MIDI スルー機能を廃止しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V1.1.0 → V1.1.1

- 一部の言語環境で動作しない不具合を修正しました。
- その他、一部不具合を修正しました。

V1.0.4 → V1.1.0

- Intel プロセッサ搭載の Macintosh に対応しました。

V1.0.3 → V1.0.4

- Dual CPU の Macintosh で MIDI 送受信を行っているとドライバーがフリーズしてしまう場合がある不具合を修正しました。

V1.0.1 → V1.0.3

- システムエクスペリエンスメッセージのエラー処理を改善しました。

V1.0.0 → V1.0.1

- Emagic 社 Logic にて、UW500、UW10 のオーディオポートがオープンできない不具合を修正しました。

V1.0.0b1 → V1.0.0

- アイコンなどのデザインを変更しました。